

越前町総合教育会議 会 議 録

■開催日時 平成29年11月13日(月) 午後 1時00分 開会
午後 1時45分 閉会

■開催場所 越前町役場 別館2階 ホール

■出席者 越前町長 内藤 俊三
越前町教育長 久保 理恵子
越前町教育委員会委員 春木 誠一 (教育長職務代理者)
〃 教育委員 寺阪 眞
〃 教育委員 島田 雅子
〃 教育委員 林 角栄

(事務局)

総務理事 梅野 秀一
教育委員会事務局長 三田村 和久
総務課長 牧田 芳広
学校教育課長 黒田 三博
生涯学習課長 酒井 英則
スポーツ振興課長 佐々木 直人
学校教育課長補佐 臥龍岡 尊哉
総務課長補佐 高木 剛彦

■会議日程 1 開 会
2 あいさつ
3 議 題
(1) 教育に関する施策について
(2) その他
4 閉 会

総務理事	<p>本日は、大変ご苦勞様です。</p> <p>ご案内の時刻となりましたので、只今から、平成29年度第1回の越前町総合教育会議を開催いたします。</p> <p>本日の司会を務めさせていただきます、総務理事の梅野でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p>
町長	(あいさつ)
総務理事	<p>これより先の議事進行につきましては、越前町総合教育会議運営要綱第3条第1項の規定によりまして内藤町長にお願いしたいと存じます。町長よろしくお願いいたします。</p>
町長	<p>それでは、本日の会議を始めたいと思います。</p> <p>お手元の資料の次第に従い、進めて参りたいと存じますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は「教育に関する施策について」を議題としております。大変幅広い議題でございますが、越前町の現状と課題を踏まえながら、対応策を模索して参りたいと存じます。</p> <p>ご承知のとおり、越前町は少子高齢化が進み、子どもの数が極端に少なくなってきています。毎年、小学校に入学する児童数を見ていまして、子ども達にとってこの環境がいいのかどうか、悩ましく感じています。</p> <p>小学校や中学校の教育環境は児童数や生徒数だけで判断すべきではないことは十分理解をしているところでございますが、本当に子ども達にとって望ましい学校環境とは、どういった環境なのか、真剣に考えなければならぬと思っています。</p> <p>まず、学校環境については、施設面、教育内容、規模、通学手段など多岐に渡っての検討が必要となります。今後、喫緊の課題として避けて通れない課題と認識しておりますので、教育委員の皆様方とともに、対応策を検討していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>では、事務局より、現状の報告を受け、その後、委員の皆様方からご意見を伺って参りたいと存じますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、事務局より資料の説明をお願いします。</p>
学校教育課長	(越前町小・中学校の現状について資料No.4を基に説明。)
町長	<p>只今事務局より、越前町の学校教育環境の現状報告がございました。事務局の説明には、今後の児童・生徒数の推移や施設の現状を中心に説明がなされましたが、今ほどの説明の中で、学校の規模が課題として存在することは否定できません。</p>

越前町が合併して13年近くが経過し、少子化の波が止まらない現状に鑑み、学校の適正規模を改めて検証する必要があるとの思いをいたしております。はじめに、この課題について、委員の皆様方の率直なご意見をお伺いしたいと思っております。

委員さん方のご意見・ご提案をお願いいたします。

寺 阪 委 員

いいでしょうか。自分の思いで言わせていただきます。

少子高齢化ということは、数年前から出てきています。この越前町にも少子高齢化は今の説明でよく分かります。

3年か4年前に文部科学省が学校の基準を出して、それぞれの市町村で考えてはというものであったと思っております。福井県の情勢を見ると福井市や敦賀市、最近では、小浜市その前には大野市と各市町で学校の再編、統廃合の問題が新聞紙上で出ています。

よく考えてみますと、今の事務局からの説明を聞くと、確かに越前町にもその波が押し寄せているなど、つくづく思います。この教育委員会の教育委員の話でも、むしろ、子どもや親の方からそういう問題について、どうなっているかと問われるということがあります。

私も「どうなっているのか」と聞かれましたが、返答に困りました。

確かに町民の間には、そういう問題が根付いていると思っております。

町長さんも言われましたとおり、この統廃合につきましては、一度考えていかななくてはならないとつくづく思います。

越前町では、3年前からSS連携というものをやっています。このSS連携とは小規模校同士が集まって、又は繋いで学習するわけですが、その結果を聞いてみますと、先生方も、子ども達も良かったと言います。良かったということは、どういうことかと考えてみれば、子どもがたくさん集まった方がより教育効果が上がって、よく学べたということが言えるのではないかとつくづく思います。

この統廃合のいろんな問題につきまして、私は、子どもにとって一番良い方法を考えることだと思っております。学習しやすい、学びやすい、学校に行くことがたのしいという子ども達に。

それからもう一つの大きな問題は、地域の人々にこの問題について理解してもらうことが一番大事だと思っております。やっぱり教育というのは、すべての者が取り組まなければならないと思っております。

そういうことで、この問題につきましては、行政の方から押すやり方では駄目だと思います。みんなが顔を寄せ合ってどうあるべきか考えて、そういう意味でそう簡単にいかないと思っておりますが、いろんな層の人が集まって、先程、事務局から資料の説明がありましたが、一度このように提示してどのようにしたらよいか、あり方検討委員会を立ち上げて取り組んでいったらどうかと思っております。

町 長 いろいろな意見をありがとうございます。また、皆さまにもお聞きしたいと思います。他にありませんか。

春 木 委 員 だいたいの考え方は寺阪委員と同じですが、今までいろいろな話が出る度に私は、小規模校の良いところもあり一番良いところは、先生が目子どもに直接全部にいき渡り、いじめの面でも早く芽を摘めるという良い面があるといつも言ってきた覚えがありますが、池田中学校の福井新聞の調査委員会の報告書を見てみますと、逆の効果が出ているみたいで先生もみんなが知っている、子ども達もいじめや先生に言われたことを見ている、それが校長に上がっているが判断していない。地域の人も知っている。調査委員会のアンケートをとったらそういったことがどんどん出てきている。

ということは、小規模校がゆえに先生方も子ども達も思ってもなかなか言えない。そういう面から見るとある程度の規模があった方がお互い言いたいことも言えるのではないかと近頃思っています。

それが何人で適当か私には分かりませんが、子どもが少なければそういう問題が起きないと言われるとそういう事はないと思います。逆にみんなが分かっているけど、誰にも言えなくて追い込まれていく。そういうことを考えるとある程度の規模があって先生の数もいてお互いが注意しあって、注意が出来るような環境をつくるのが、子ども達にとって良いのではないかと思います。

全体的には寺阪委員が言われましたので、教育委員会としてこれから取り組んでいかなければならないと思います。もう本当に一部の学校では突き当たっているようで、何段階かに分けてもいいから、目標をもってこの問題をみなさんと考えていった方がいいと思います。

町 長 ありがとうございます。
今まで出てこなかった小規模校がいいという意見からこんな問題が潜んでいました。メリット、デメリットもありますが切実な問題が出てきまして、いろいろと見方も変わってきているのではないかと思いますので、慎重に対応しなければいけないことだと思います。

ありがとうございました。

次にご意見ありましたらお願いします。島田委員さんお願いします。

島 田 委 員 やはり、100人を切るような小規模校が増えてきているので、統廃合を考えていかなければいけないと思いますが、小中高と3人の子どもの保護者といたしましては、登下校を含めて、健康で安全に過ごしてほしいということと、学力、体力、精神力を養う上で、十分な指導を受けられるそういう場であってほしいというのが最大の願いであります。

やはり、子ども達に先生が目が十分にいき届く、また教頭、校長の目がいき届く規模の学校であることが望ましいと思います。

町長 ありがとうございます。
やはり、学校規模とか目のいき届き方とかいうところを注意してほしいというご意見でした。ありがとうございます。
林委員お願いします。

林委員 同じく保護者として感じることでですけど、小規模校の方が地域の人たちの協力は盛んだと思いますが、運動会なんかを見ていると、町長さんも感じられていると思いますが、とてもあれが適正な人数だと考えてはいないと思います。
朝日小学校とかは別としても、先生の人数もそんなに昔と変わらないのに子どもの数は減っている。どうにか、保護者や家族同士がいて運動会を行っているから賑やかに見えるけど、とても寂しい感じをもっているのは実情だと思います。
保護者も意外と口には出しませんが、適正な数でないと思っているので強行には出来ないと思いますが、順を追って統廃合の道に進む方が保護者としてもそう感じています。それが普通だと思っています。

町長 今、いろいろと4人の委員さんにお聞きしましたけど、やはりいろんな形で現状の問題やこのままでは、適正規模でないというような意見でなかったかと思います。そういうことで、その他にもご意見をいただきましたけれど、他にありましたらお願いしたいと思いますがよろしいでしょうか。

教育長 今このグラフ、児童生徒数の推移を見ますと合併後12年間で小学校は320名、1学年にすると50～60名、12年間で減っています。中学生も同じく、500名弱12年間で減っています。
また、さらにこの後6年後の35年までには小学生が237名減ってきますし、小中合わせて272名さらに減少し、大きな増加は見込まれないのかなという気がしています。
現在、小学校が複式学級2校抱えています。
一つは本当に小規模化で、1クラス1～2名といった学級を抱えています。複式学級の講師も派遣して頂いておりますが、今後こういった複式学級を抱える学校も出てくる可能性もありますし、それに近い人数の学年を抱える学校も出てくるでしょうし、学校の小規模化も進んでいきます。
それに加えて、施設の老朽化が進み、生徒の安全面で修繕や改築の必要性も高まってきます。このような状況をきちんと地域の人にも、理解して頂いて、越前町の子ども達の将来をみんなで考えてよりよい学校づくりについて、地域の課題として議論していく必要があると思います。
また、今の世の中はずいぶん変化しています。国際化、情報化、価値

の多様性、今の子ども達が、30年後社会人になった時に身に付けておかなければならない力、そういったものを考えますと、学校の役割もずいぶん変わってきています。

学力も知識だけでなく、みんなで主体的に、みんなで課題をみつけて、みんなで話し合って、そしてそれぞれのグループが話し合ったのを、全体で深め合って解決していくという力を求められていますし、社会性につきましても、今、核家族化が進んでいますし、さらに兄弟も少ない、関わる大人、子どもの数も少なくなっていて、社会性が育ちにくい世の中になっていますので、そういう意味でも学校はどのような集団の中で教育していくのが望ましいのか、今いる大人たちが検討して方向性を見出していくというのが、大人の責任でないのかという気がしています。

町

長

ありがとうございました。

只今、久保教育長からは、いろいろな問題や、集団化、社会教育といえますか、付き合い方とか、今は学校に求められており、昔は地域の人と遊んだりしたと思いますが、しかし、現在の学校規模では、それは機能しないということであり、そのとおりだと思います。

今、委員さん方から、貴重なご意見をいただきました。

この課題については、町民の皆さんにとっても、地域にとっても最も関心の高いものでございます。

冒頭にも申し上げましたが、学校環境については、児童数や生徒数だけで判断すべきことではございませんが、私は、何と言っても、子どもを中心に考え、子ども達の未来にとって、一番いい教育環境を提供したいと考えております。

お話をお伺いいたしまして、委員の皆様方も私と考えを共有していただいているようでございますので、越前町の学校教育環境について、検討する必要があると判断をいたしました。

その中でも、学校規模の適正化については、専門的な要素、保護者、地域の皆さんの考え方が交錯してまいります。

是非とも教育委員会において、子ども達にとって最良の教育環境の実現に向けて、慎重かつ丁寧に調査検討をお願いいたしたいと存じますが、いかがでしょうか。何かございましたらお願いします。

春 木 委 員

教育委員会の方で行っていかなくてはいけないので、そういうことであれば調査検討しながら取り組んでいきたいと思っております。

町

長

ありがとうございます。

これから教育委員会として、この問題を進めていくということでお願いしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

その他の議題として何かございませんか。

教 育 長

この場をお借りしまして、先程も話題になりました重大な学校事故につきまして、お話をさせていただきます。

ことし3月に池田中学校で大変悲しい事故がありまして、第三者による調査委員会の報告書が10月15日に公表されました。それを受けまして、17日には県内の校長を集めて緊急会議が開催されました。また、それを受けて、町内各学校の全教員で研修会や教員会議を開きまして、一人ひとりの子どもを理解し、学校に応じた指導に努めることや子どもの小さな変化を見逃さない学校、そしていろんな課題を教員が一人で抱えこまないで、上司や同僚に報告、連絡、相談すること、情報を共有化して会議を随時開いて、解決していくこと、連絡調整を含めて基本的なことで大切なことですが、今一度、再確認をさせていただきました。

そして、また、教育委員会としましても、今回のことは大変重く受け止めております。決してこれはずっと忘れてはいけないことで、常に教育委員会としましても、危機意識をもっていきたいと思えます。

私も校長会、教頭会で管理職としての責任の重さや取り組むべきこと、教育委員会に何でも報告、連絡、相談することなどを話しました。PTA役員研修会でも、そのような話をさせて頂きどんなことでもいいので学校に報告してほしいと話をしました。

今、学校訪問させて頂いておりますが、出来るだけ学校現場に行っ子ども達、先生方の様子を見たいと思えます。

また、教育委員の方にも、今回学校訪問のご案内を差し上げて出来るだけ現場で子ども達の様子を見て頂くようお願いしています。

春 木 委 員

今の問題ですが、何回か前の教育会議でも申し上げましたが、学校の中で起きていることが、全部学校を通じて教育委員会に連絡が入っているのであれば、問題がないのですが、入ってこないこともあると思えます。ただ、子ども達は知っていて、見たり聞いたりした親もうすうす気付いている。なら、親から教育委員会へ言おうかという行動がおきない。池田の問題でも同じで、教育委員会の方へ言えないような体質になっていると思えます。

役場の職員の中にも保護者の方がいると思えますので、子どもから学校でこんなことがあったんやってという話を聞いたら、町の職員の方も意見をどんどんと教育委員会に言ってほしいと町長さんの方からも職員の皆さんに言ってほしいと思えます。

子どもが世話になっているとなかなか言いづらいということを今でも思う人がいますが、遠慮せずに小さいことでもいいので、教育委員会に話してほしいと思えます。

町 長

黙っているとかでなくて、情報として伝えるよう役場の職員の皆さんにお願いしたいと思えます。

他に何かございませんでしょうか。

なければ、本日の議題はこれで終了といたします。

総務理事

ありがとうございました。

閉会にあたりまして、久保教育長より、ごあいさつをお願い致します。

久保教育長

(あいさつ)

総務理事

ありがとうございました。

以上をもちまして、第1回の越前町総合教育会議を終了致します。